SAGA PREF.

Investor Relations Presentation

October 2023

佐賀県

SAGAアリーナ（佐賀市）

【INDEX】
目 次

1. 佐賀県の概要

佐賀県の概要 ······················ P. 1
県政の基本理念 ····················· P. 3
佐賀の目指す8つの未来の姿·········· P. 4
SAGAサンライズパークの整備 ········ P. 8
SAGAスポーツピラミッド構想の推進 ··· P. 9
稼げる農業の確立 ·················· P.10
産業の活力を未来につなぐ ··········· P.11
プロジェクトＩ Ｆ···················· P.12

2. 佐賀県財政の状況

予算規模の推移 ···················· P.13
歳入予算の概況 ···················· P.14
歳出予算の概況（性質別） ··········· P.15
普通会計決算の推移 ················ P.16
歳入決算の推移 ···················· P.17
歳出決算の推移 ···················· P.18
投資的経費の推移 ·················· P.19
県債発行額の推移 ·················· P.20
県債残高の推移 ···················· P.21
財政力指数 ························ P.22
経常収支比率 ······················ P.23
実質公債費比率 ···················· P.24
将来負担比率 ······················ P.25
健全化比率等 ······················ P.26
財源調整用基金 ···················· P.27
本県の財政上の特徴 ················ P.28
健全化判断比率の全国的なポジション ·· P.29

3. 行財政運営計画

行財政運営計画2023 ················ P.30

4. 公営企業等の状況

公営企業会計の財務状況 ············ P.31
公社･第3セクターの状況 ············ P.32

5. 地方公会計に基づく財務諸表の状況

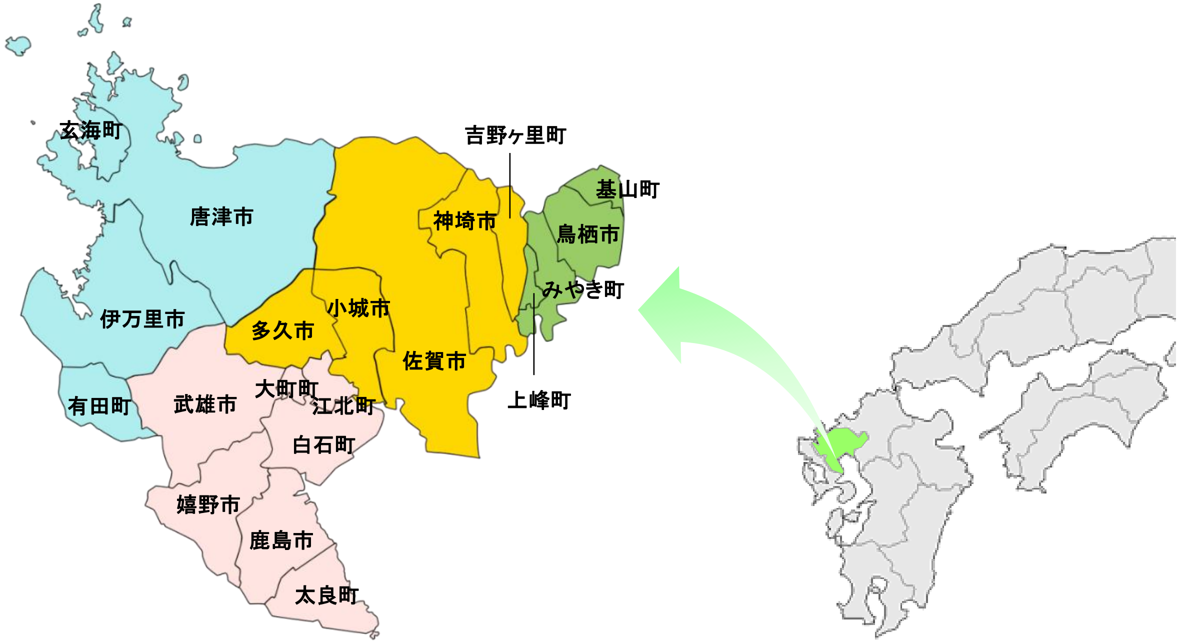
貸借対照表 ························ P.33

6. 佐賀県市場公募債について

発行概要等 ························ P.34

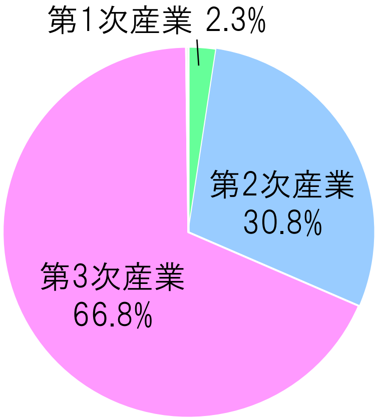
1 佐賀県の概要

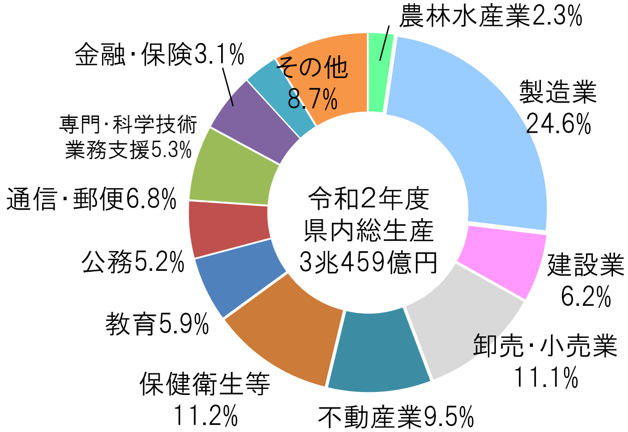
佐賀県の概要①



人口	80万1千人【令和4年／全国第42位】
面積	2，441㎢【令和5年／全国第42位】
市町	10市10町
県内総生産（名目）	3兆459億円【令和2年度／全国第44位】
1人あたり県民所得	2，575千円【令和2年度／全国第38位】

経済活動別　県内総生産





本県の 全国No.1

成分献血者率（人口千人当たり）	19.2人
シリコンウエハ出荷額（表面研磨したもの）	1,543億円
耕地利用率（作付延べ面積/耕地面積）	133.7%
ハウスみかん収穫量	6,540t
学習者用PC（1台当たりの児童生徒数）	0.9人/台

佐賀県の概要②

※1　運航見合わせ中（～未定）
※2　運航見合わせ中（～未定）

空　港

本県は、九州の北西部に位置し、アジア大陸と近い距離にあります。

九州佐賀国際空港から、国際線として、上海便、ソウル便、台北便、西安便が運航しており、九州におけるゲートウェイとしての地位を確立することを目指しています。

鉄　道

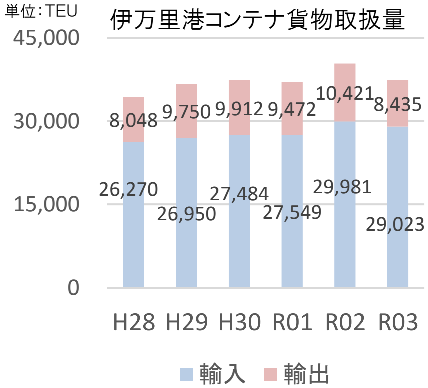
長崎本線と鹿児島本線が通るほか、九州新幹線により、本州及び九州内の主要都市への移動がスムーズになっています。昨年9月には西九州新幹線（武雄温泉ー長崎間）が開業しました。

新幹線（最速）新鳥栖⇔		
	博多	12分
	鹿児島中央	1時間11分
	広島	1時間18分
	新大阪	2時間47分

※山陽・九州直通新幹線「さくら」利用の場合

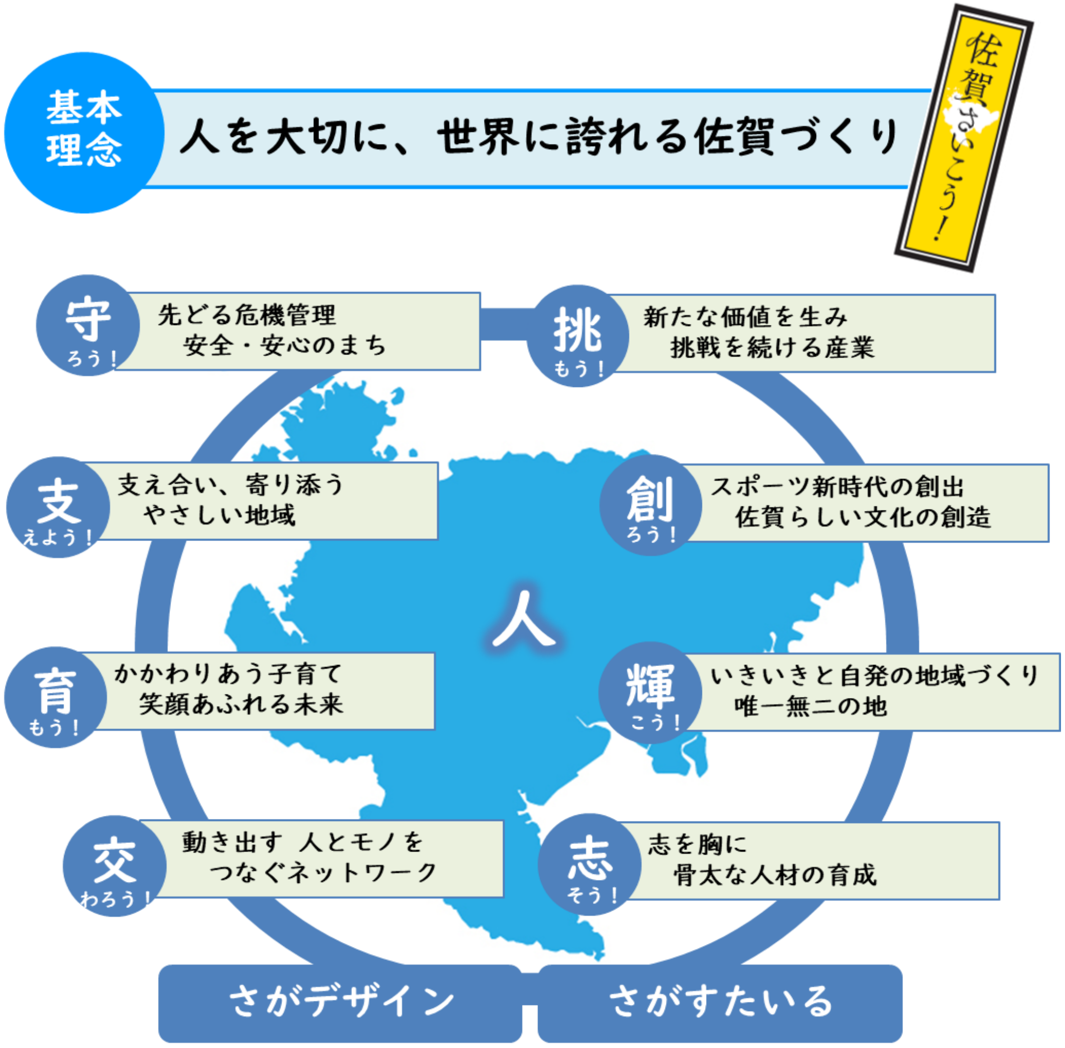
港　湾

伊万里港では、令和2年に伊万里港の輸出入の取扱量が過去最高を記録。ガントリークレーンの増設などにより、アジアのゲートウェイ、国際貿易港として整備を進めています。



県政の基本理念

世界に自信を持って誇れる佐賀をつくっていきたいという想いを込め、「佐賀さいこう!」をキャッチフレーズに、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を基本理念に掲げています。



佐賀の目指す8つの未来の姿①

守ろう！　先どる危機管理　安全・安心のまち

県民の命や豊かな暮らしを守るため、内水氾濫をはじめ自然災害等を未然に防止する対策が進んでいる。大きな自然災害や新たな感染症が発生した場合でも、全国１位の高い組織率を誇る消防団や医師会等との連携により、速やかに命を守るチーム佐賀・オール佐賀の体制が整えられており、地域と行政が力を合わせて対応に当たり、被害や影響を最小限に抑えている。

県民全体で交通事故や犯罪等の防止に取り組んでおり、森・川・海とつながる豊かな自然環境の中で、県民が安心して暮らしている。

消防団員の確保

SAGA Doctor-S プロジェクト

主な取組

- 消防団員の確保、ＰＲ
- SAGA BLUE PROJECT
- 医療機関等との連携体制構築
- プロジェクトＩＦ
- SAGA Doctor-S プロジェクト
- 森川海人っプロジェクト　　など

支えよう！　支え合い、寄り添う　やさしい地域

年齢や性別、国籍、障害のあるなしといった様々な「ちがい」がある中で、それぞれが尊重しあい、自然に支え合っている。一人一人の痛みや想いに寄り添いながら多様な意見を取り入れて、佐賀らしい、やさしさのカタチである「さがすたいる」が広がって、誰もが自分らしくいきいきと暮らしている。

医療的ケア児支援

パートナーシップ宣誓制度

主な取組

- さがすたいるの推進
- 医療的ケア児の支援
- パートナーシップ宣誓制度
- 介護人材の確保
- がん検診の受診促進
- 難病患者への支援体制の充実　など

佐賀の目指す8つの未来の姿②

育 もう！ かかわりあう子育て　笑顔あふれる未来

　すべての人が、様々な幸せのかたちを大切にしながら、安心して佐賀での生活、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てができている。

　男性も女性も家事や子育てに主体的にかかわり、職場や地域の人々も、子育て世代を積極的に応援し見守っている。サポート体制が充実し、親は一人で悩むことなくいきいきと笑顔で子育てをしている。

出会い・結婚応援

保育士等の人材確保、質の向上

主な取組

- 出会い・結婚応援
- 保育士等の人材確保、質の向上
- マイナス１歳からのイクカジ
- アプリを活用した相談支援
- 不妊・不育症治療の支援
- 新刊児童書の全点購入

など

交 わろう！ 動き出す 人とモノをつなぐネットワーク

　有明海沿岸道路や佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号等の整備が進んでおり、九州佐賀国際空港や唐津港・伊万里港とともに、交流ネットワークが形成されている。

　滑走路延長等で海外路線が増える九州佐賀国際空港を中心に、筑後・佐賀エリアが有明海沿岸道路で結ばれて北部九州の新たな発展軸として重要な役割を果たしている。

　鉄道やコミュニティバス等の公共交通が地域の移動手段として維持されており、住民や国内外からの観光客の交流が盛んになっている。

広域幹線道路の整備

世界とつながる九州佐賀国際空港

主な取組

- 有明海沿岸道路、佐賀唐津道路、
  西九州自動車道、国道498号等の整備
- 九州佐賀国際空港の利活用促進、
  滑走路延長（2,500ｍ化）
- 身近な道路（通学路等）の整備
- 地域における多様な移動手段の確保
- 唐津港・伊万里港の利活用促進

など

佐賀の目指す8つの未来の姿③

挑もう！ 新たな価値を生み　挑戦を続ける産業

　スタートアップや成長産業の育成・集積が進み、ＤＸ・ＧＸの推進とともに、地域資源を活用したビジネス、中小企業や伝統産業の新たなチャレンジが活発化。これらのこ
とを通じて、新たな価値を生み出すとともに、その価値を創り出す人材が集い、活躍している。

　園芸・畜産を軸に「磨き、稼ぎ、つながる農業」が展開され、林業・水産業を含めブランド化やスマート化が進んでいく中で、持続可能な経営スタイルが確立し新たな担い手を呼ぶ好循環が生まれている。

Startup Gateway SAGA
コミュニティイベント

農林水産物のブランド化

主な取組

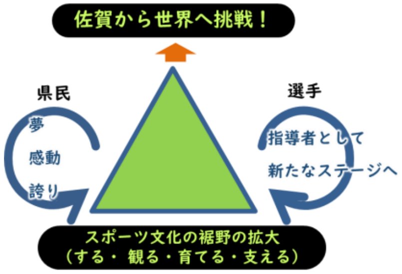
- プロジェクト６５＋
- 半導体等の成長産業の育成・集積
- 伴走支援によるＤＸやＧＸの推進
- スタートアップの発掘・育成
- さが園芸８８８運動
- 農林水産業の担い手確保・育成、スマート農林水産業の促進
- 佐賀牛の輸出促進　　　など

創ろう！ スポーツ新時代の創出　佐賀らしい文化の創造

　人々が「する」「育てる」「観る」「支える」といった自分なりのスタイルでスポーツに関わっており、スポーツビジネスの創出など新しいスポーツシーンが佐賀から始まっている。

　ＳＡＧＡサンライズパークでは、スポーツや文化による新たな感動が生まれている。

　文化的・歴史的資産が大切に継承されるとともに、人々が多彩な文化芸術活動に触れ、佐賀の地から新たな文化が創造されている。また、それらの本物の魅力や唯一無二の体験が国内外に発信され多くの人々を魅了し、新たな交流が生まれている。



ＳＳＰ（ＳＡＧＡスポーツピラミッド）構想

文化・芸術等の活動拠点
（市村記念体育館）の整備

主な取組

- ＳＳＰ構想の推進
- スポーツビジネスの創出
- プロスポーツチームへの支援
- ＳＡＧＡ２０２４の開催
- 文化・芸術等の活動拠点の整備
- 佐賀さいこうフェスの開催
- 「はじまりの名護屋城。」プロジェクト
- 吉野ヶ里遺跡に関する情報発信　　など

佐賀の目指す8つの未来の姿④

輝 こう！ いきいきと自発の地域づくり　唯一無二の地

人々が地域の歴史や文化、自然、豊かな食、伝統など、唯一無二の素晴らしさに気付き、大きな誇りを感じるとともに、自発的な地域づくりが進んでいる。

国籍や民族などの異なる人々が、文化的背景や多様な価値観の違いを尊重しながら地域の一員として活躍する多文化共生の社会が創られている。

佐賀が持つ本物の価値がデザインやコラボの手法で広く情報発信され、そこに惹かれた人々が世界中から佐賀県を訪れている。

自発の地域づくり
（吉田皿屋ひかりぼし）

企業、コンテンツとのコラボ

主な取組

・自発の地域づくり
・観光プロダクツの創出
・企業、コンテンツとのコラボ
・多文化共生
・ＭＩＣＥ誘致の促進
・ＣＳＯ連携支援、誘致　　　など

志 そう！ 志を胸に　骨太な人材の育成

こどもたちは、学びや様々な体験を通して佐賀の自然や歴史を感じ、志豊かな若者となり、佐賀や世界で活躍している。

県内の学校はそれぞれにある唯一無二の特色を活かし、その魅力を感じた県内外からの生徒で活気にあふれている。

県内の高等教育機関から多くの専門的で多様な人材を県内事業所に輩出している。

唯一無二の誇り高き学校づくり

ＳＡＧＡ部活の推進

主な取組

・唯一無二の誇り高き学校づくり
・特色ある私立学校づくり
・弘道館２
・県立大学の調査・検討
・ＳＡＧＡ部活の推進
・県立夜間中学の開校　　　など

SAGAサンライズパークの整備

2023年5月13日、グランドオープン

国民スポーツ大会･全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、県民の夢や感動を生み出す、スポーツの一大拠点を形成するとともに、スポーツ･文化など様々な活動を通じて地域の活力を生み出し、新たな価値を創造するエリアとして整備を行っていたSAGAサンライズパーク。
中核施設であるSAGAアリーナがついに完成。グランドオープンを迎えました。
※SAGAサンライズパークとは、所在する「佐賀市日の出」という地名にちなんだ名称。

整備の基本的な考え方と主な施設

整備の基本的な考え方

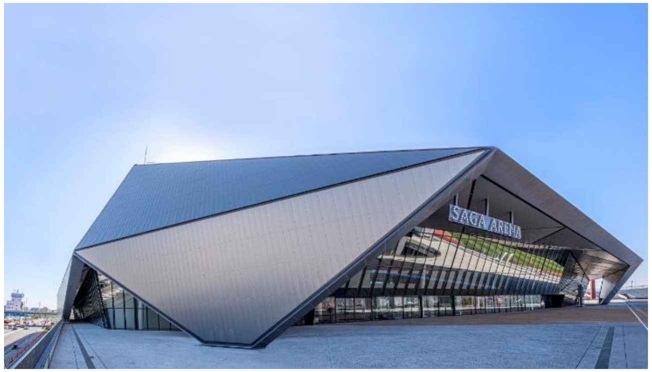
1 県有スポーツ施設としてのあるべき機能･設備を備えた施設
① スポーツを楽しむ環境を整える　する
② 競技力の向上を支援する環境を整える　育てる
③ スポーツツーリズムを推進できる環境を整える　観る

2 支える側も楽しめる施設　支える

3 多目的な利用ができる施設　憩い、にぎわう

SAGAアリーナ･防災拠点施設

メインアリーナは、約8,400席の観客席



◆バレーボール、バスケットボール等のプロの試合やコンサート等のイベント、学会等のMICEが開催可能な多目的アリーナ

2023年5月13日オープン

SAGAアクア（国際基準の50mプール）

2021年10月23日オープン

ＳＡＧＡスタジアム（世界陸連クラス２認証、日本陸連第１種公認　取得）

2022年5月26日オープン

SSP構想で“世界標準”のスポーツ文化を実現!!

佐賀から世界に挑戦するＳＳＰ構想

【2018】START

【2020】SAGA 2020 SSP杯

【2021】東京2020 オリ・パラ

【2023】SAGA サンライズ パーク オープン

【2024】パリ オリ・パラ SAGA2024

【2028】ロサンゼルス オリ・パラ

【2031】佐賀から世界に挑戦する新しいスポーツシーン

SAGA SSP always on your side

佐賀から世界へ挑戦！

県民　夢・感動・誇り

アスリート育成

選手　指導者として新たなステージへ

スポーツ文化の裾野の拡大
（する・観る・育てる・支える）

中央競技団体との連携

日本フェンシング協会

日本山岳・スポーツクライミング協会

民間企業との連携

佐賀県オールトヨタラグビー教室

スポーツマガジン発行

など

サガスカウト

高校生アスリート寮

2022年 3か所オープン！
太良・佐賀・鳥栖

日本トップクラスの育成力

サガン鳥栖U-18

鳥栖工業高レスリング部

佐賀商業高女子柔道

女性アスリート支援

「稼げる農業」を確立し、「活力ある農村」へ

収量や品質の向上、経営の規模拡大や多角化等により「稼げる農業」を確立し、それを新規就農者や担い手の確保・育成につなげていく好循環を生み出すことで「活力ある農村」を実現します。
そのために、所得向上が期待される園芸農業を強力に推進する「さが園芸888運動」を展開するとともに、当県が誇る銘柄牛「佐賀牛」の生産基盤の強化や輸出の促進などにも取り組むことで、農業産出額を1,206億円(R3)から1,580億円(R14)に伸ばすことを目指しています。

<主な取組等>

さが園芸888運動

園芸農業の産出額を令和10年までに888億円に拡大することを目標に、県や市町、農協、生産者が一丸となって展開中。

<園芸団地が拡大しています！>

いちごやきゅうりの生産拡大に向け、武雄市や白石町で3ha規模の園芸用ハウス団地の整備が進んでいます。

佐賀牛を一気通貫で世界へ

令和5年6月、佐賀牛のもととなる肥育素牛の生産拠点「佐賀牛いろはファーム」と、EUや米国などへの輸出に対応できる高性能食肉センター「KAKEHASHI」が本格稼働を開始しました。「佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛」の生産を拡大し、佐賀から直接世界へ届けていきます。

全国に誇る農産物

「いちごさん」

かんきつ新品種
「にじゅうまる」

「佐賀牛」

「さがびより」

産業の活力を未来につなぐ

未来に向けた県内産業の発展のため、産業スマート化センターを核とした県内企業のDX推進、個別指導を軸としたスタートアップの発掘・育成、製造業や今後の成長が見込めるデジタル関連企業の誘致を推進しています。

“その道のプロ”による様々な個別指導を軸に次世代を担う有望起業家を続々輩出

第一線の投資家・起業家が指導

県外のアワードを続々受賞

イベントは常に満員御礼

Startup

2018年開設の全国初のDX推進ハブを核に既存企業のビジネスをアップデート

日本DX大賞受賞企業も輩出

県外自治体からの視察多数

DX人材講座には応募が殺到

産業DX

未来をリードする
イノベーションの創出へ

企業誘致

SUMCOやアサヒビールなどの大規模工場

CygamesなどのIT企業

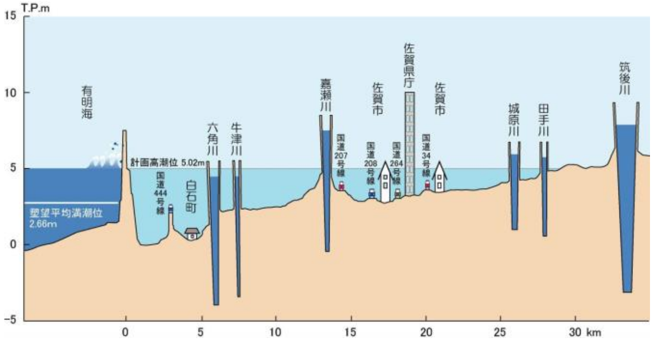
写真提供：㈱イノベーションパートナーズ/和多屋別荘

日本初!温泉旅館の客室がオフィスに!!
多数のIT企業がサテライトオフィスを開設

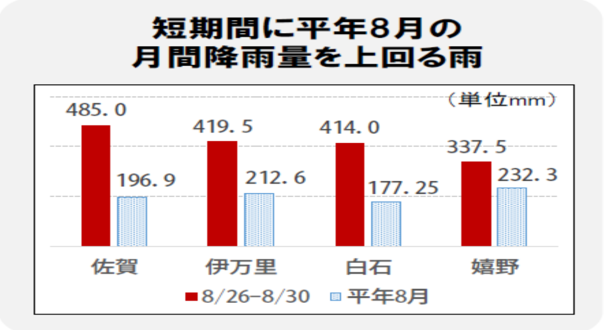
本県の強みを生かした戦略的誘致活動により世界的な企業が続々進出

全力で取り組む内水対策 プロジェクトＩＦ

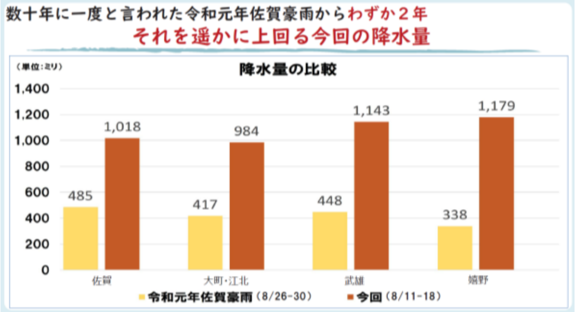
再び同様の豪雨が発生しても2度と同じ被害を繰り返さないよう、人命を守ることを第一に、全力で取り組んでいます。



佐賀平野の断面図



令和元年８月豪雨の降水量
（３時間程度で平年を大きく上回る）



令和３年８月豪雨の降水量
（１週間で年間の半分の降水量）

３つの視点で、できることから

人命等を 守る

内水監視カメラ

浸水（冠水）センサー

農業機械避難・保険

内水を 貯める

田んぼダム

水門操作の省力化

ため池の貯留機能向上

緊急放流ゲート

内水を 流す

排水ポンプ車「ファイブスターズ」

排水機場の機能向上

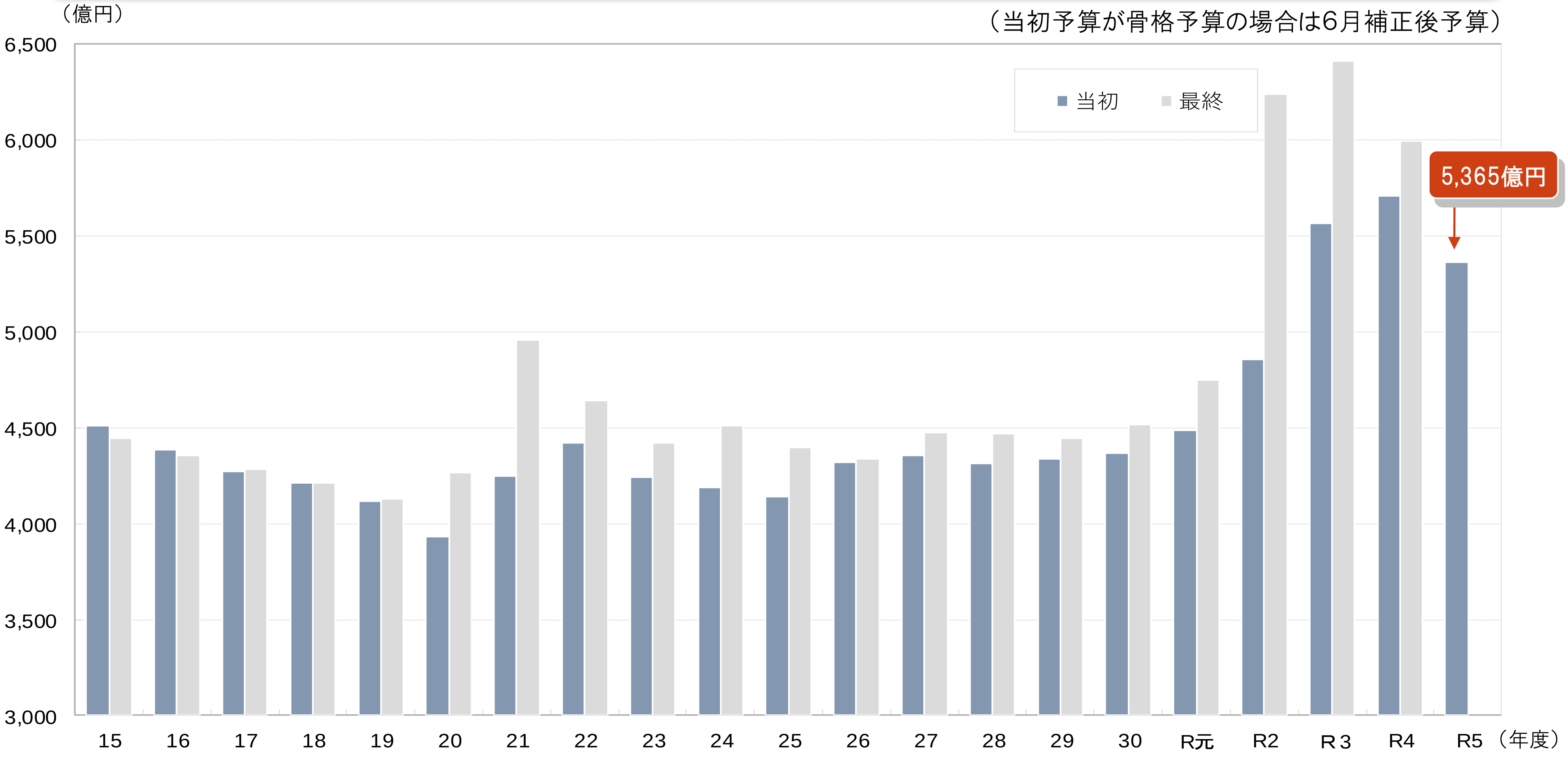
脱着式防水板

河川の浚渫

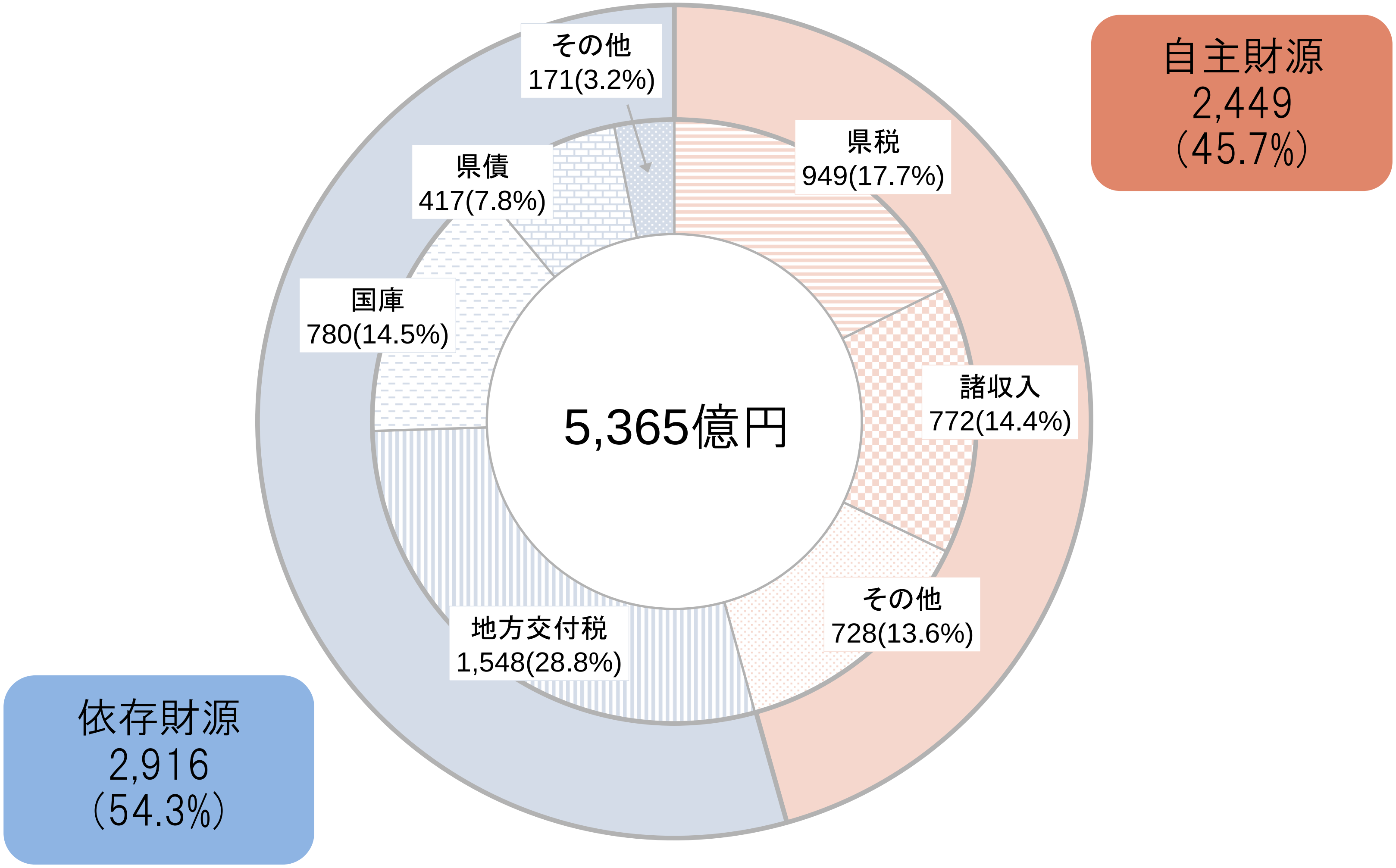
2 佐賀県財政の状況

予算規模の推移

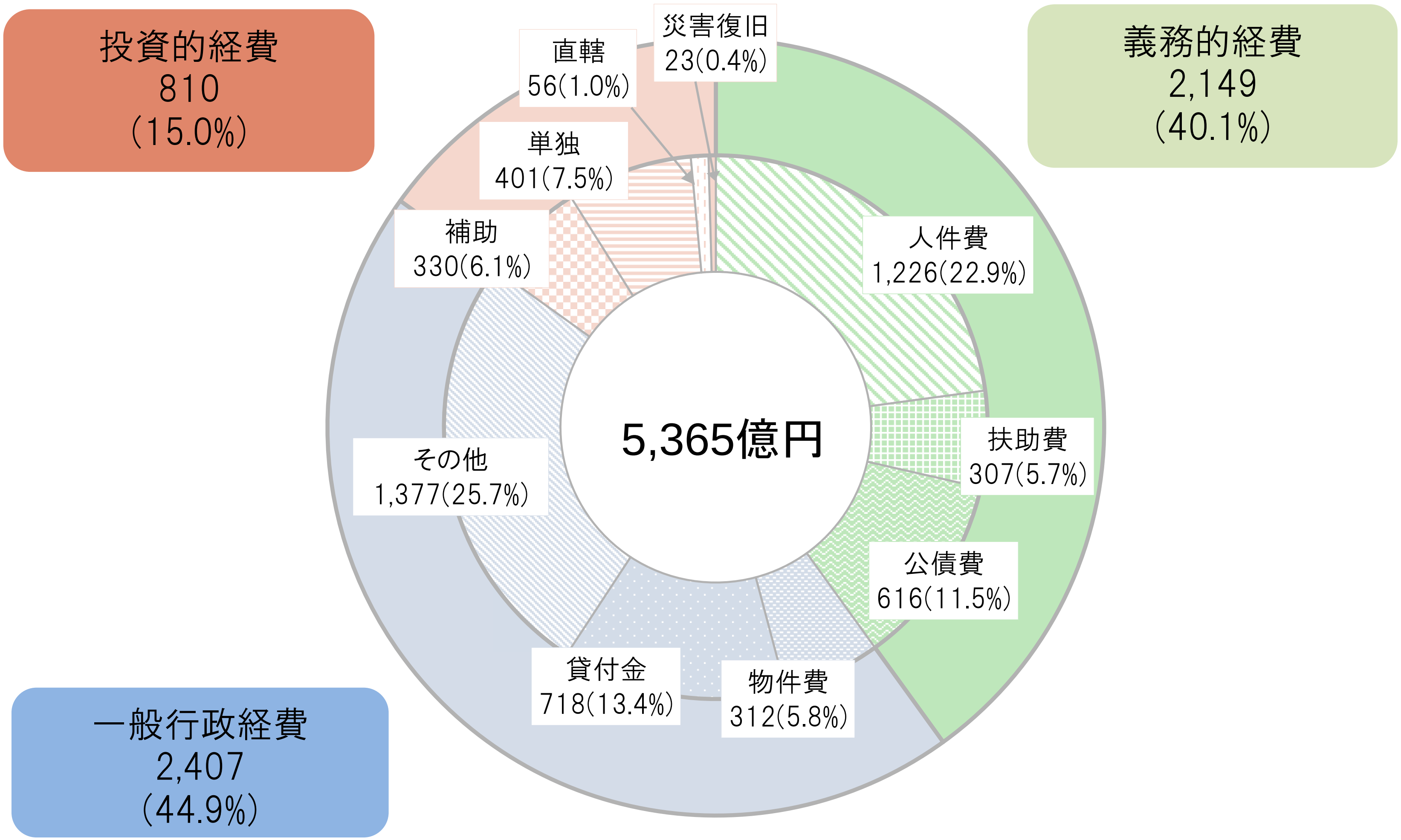
- 令和5年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策、SAGAサンライズパークの整備、災害復旧費等に係る予算の減少により、昨年度当初予算と比較して6.1%の減となっています。



令和5年度歳入予算の概況

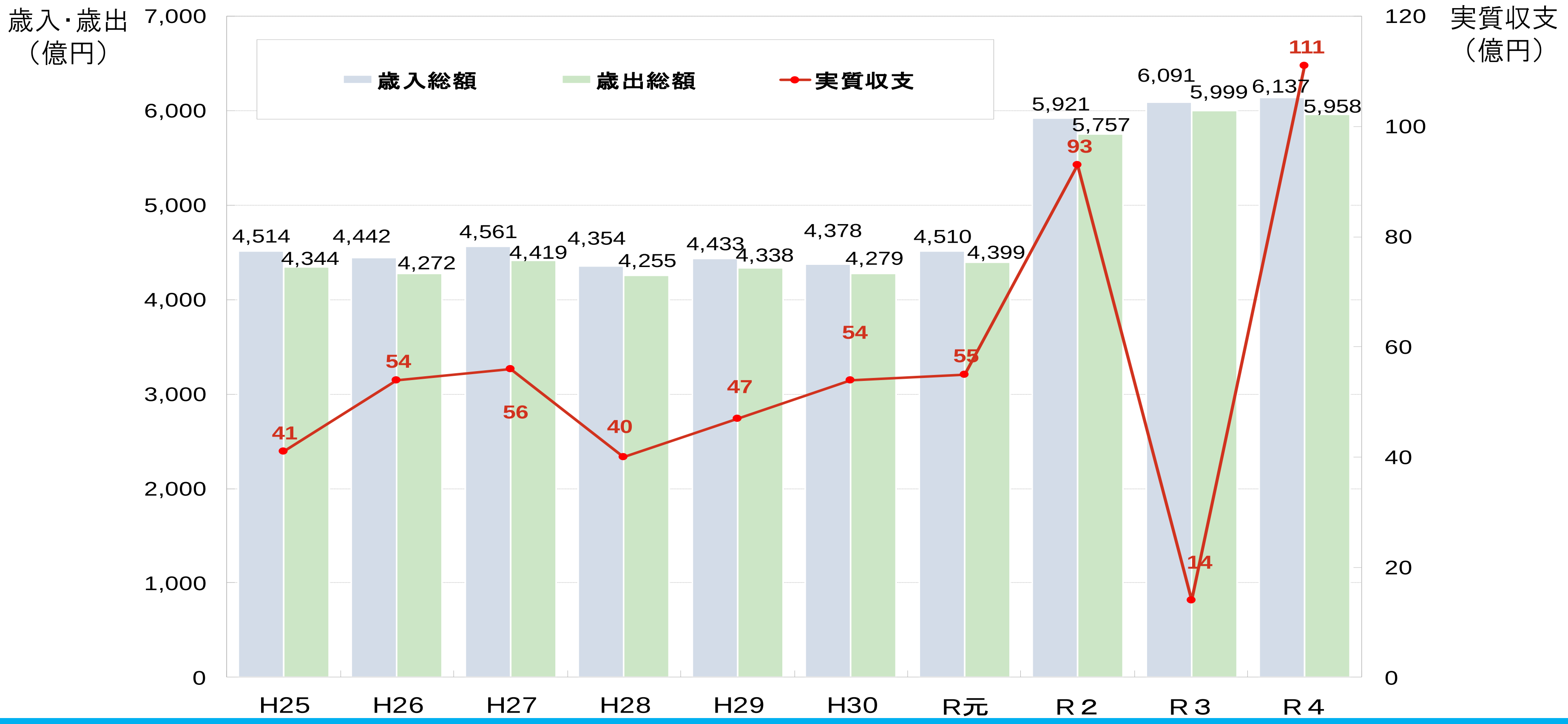


令和5年度歳出予算の概況（性質別）



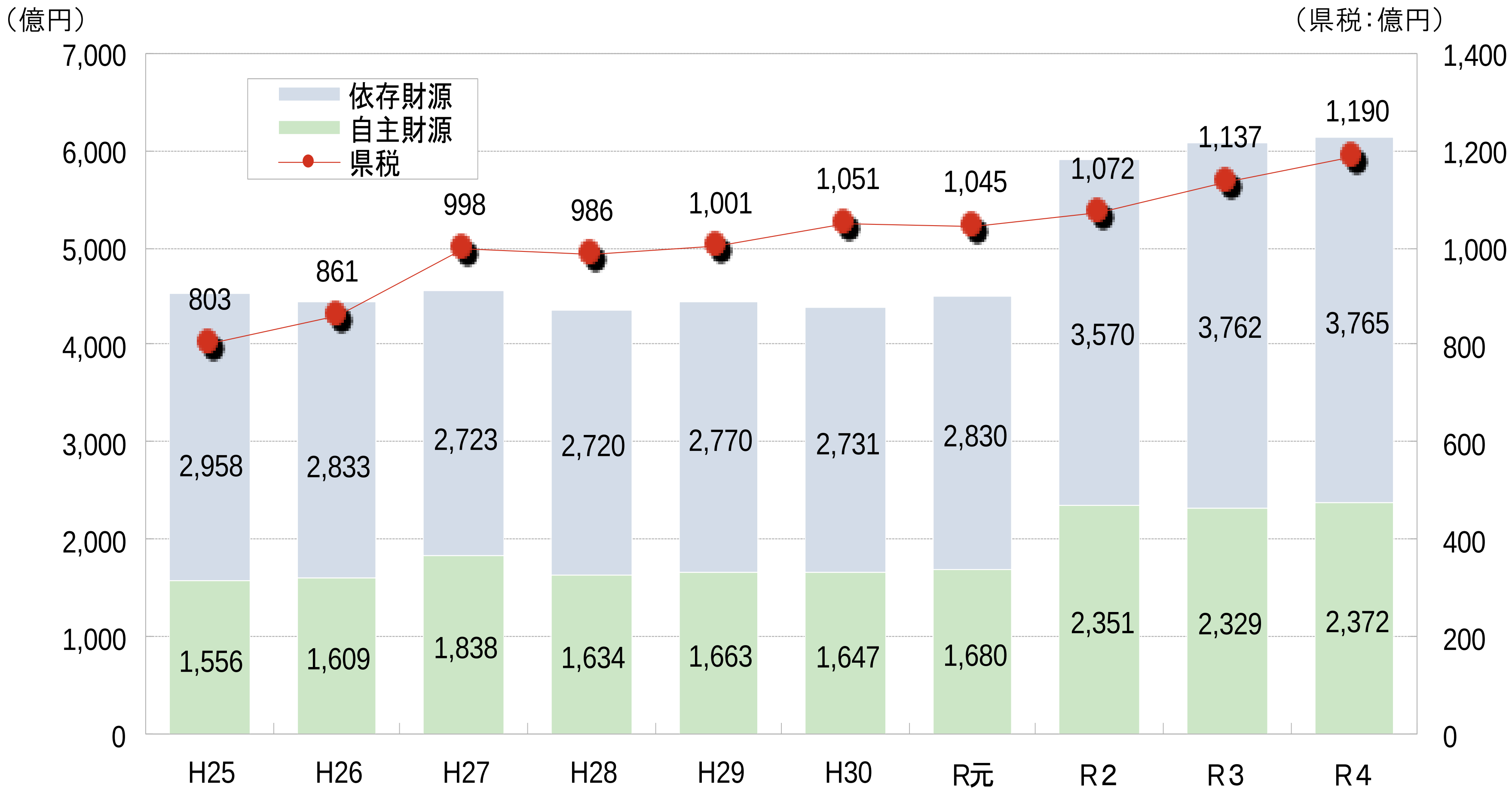
普通会計決算の推移

- 歳入・歳出は4,500億円程度で推移していましたが、令和2年度からはコロナ対策事業費等の増加により、6,000億円程度となっています。
- 実質収支は昭和51年度以降、継続して黒字となっています。



歳入決算の推移

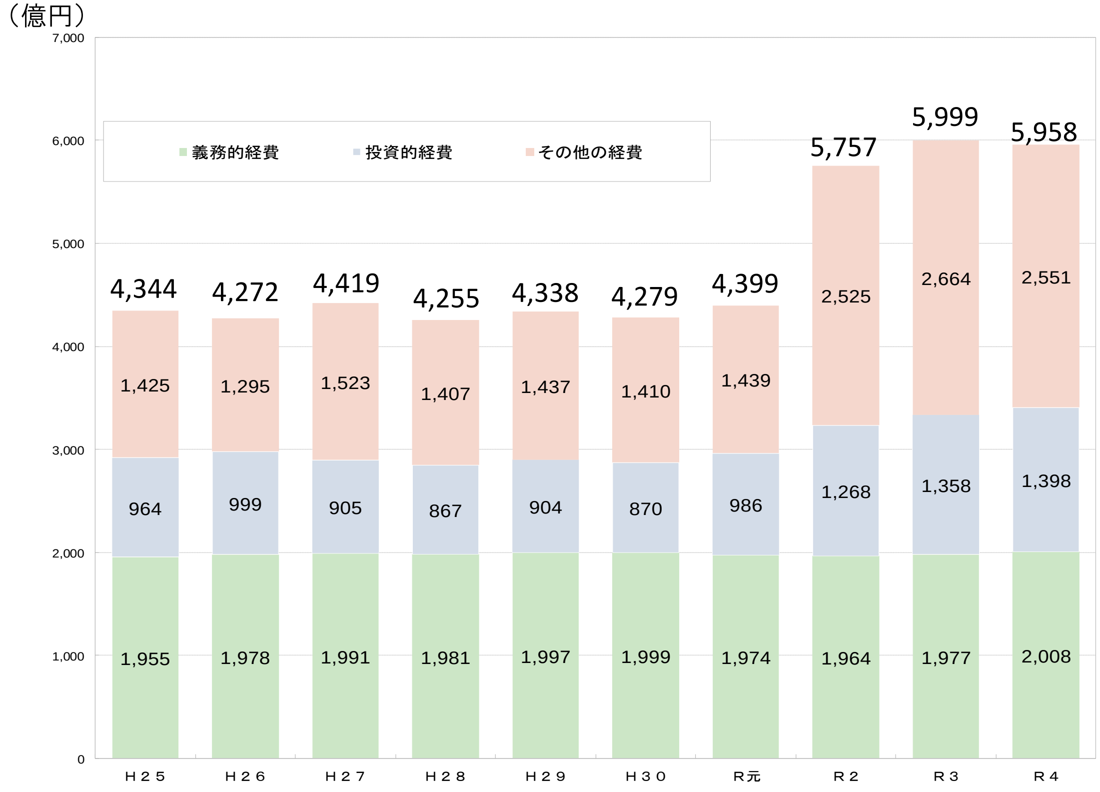
- 自主財源の比率は4割程度で推移しています。
- 令和2年度からはコロナ対策の国庫支出金等により増加しています。



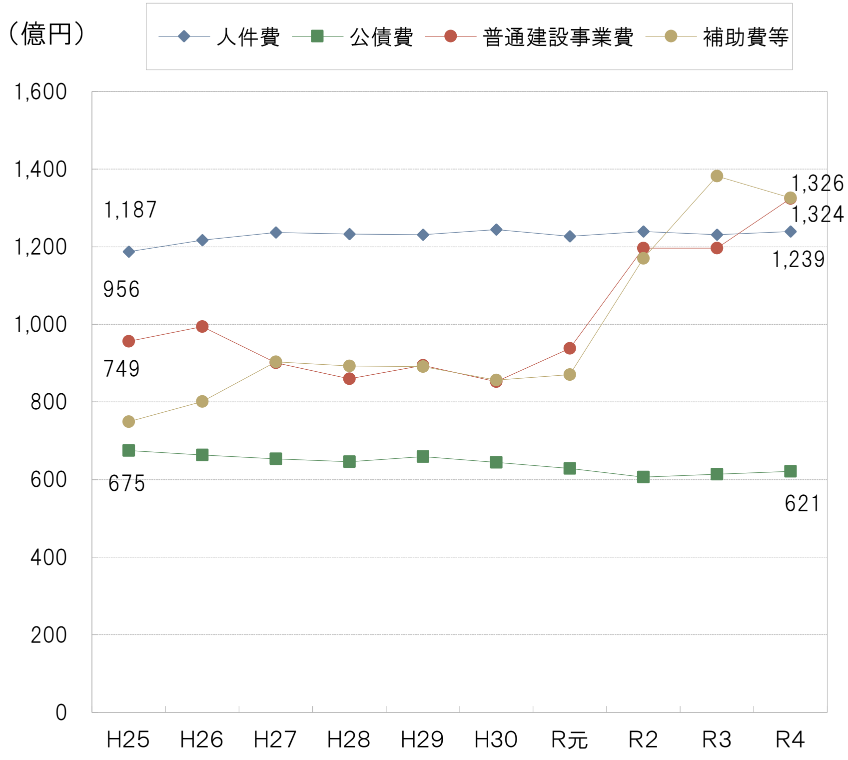
歳出決算の推移

- 4,500億円程度で推移していましたが、令和2年度からは、コロナ対策事業費の増大や大型事業の実施により6,000億円程度となっています。

性質別の歳出決算の推移

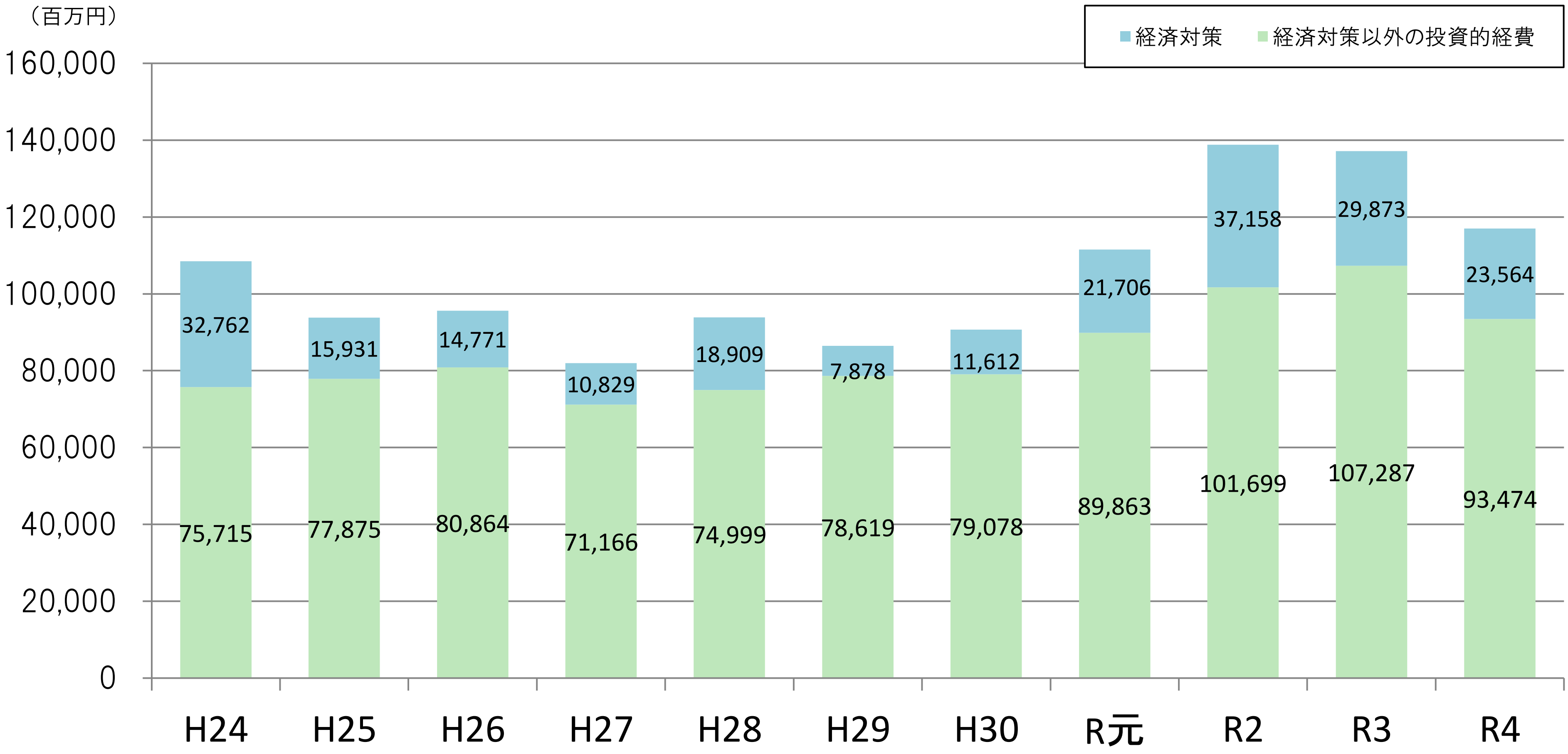


主な経費の推移



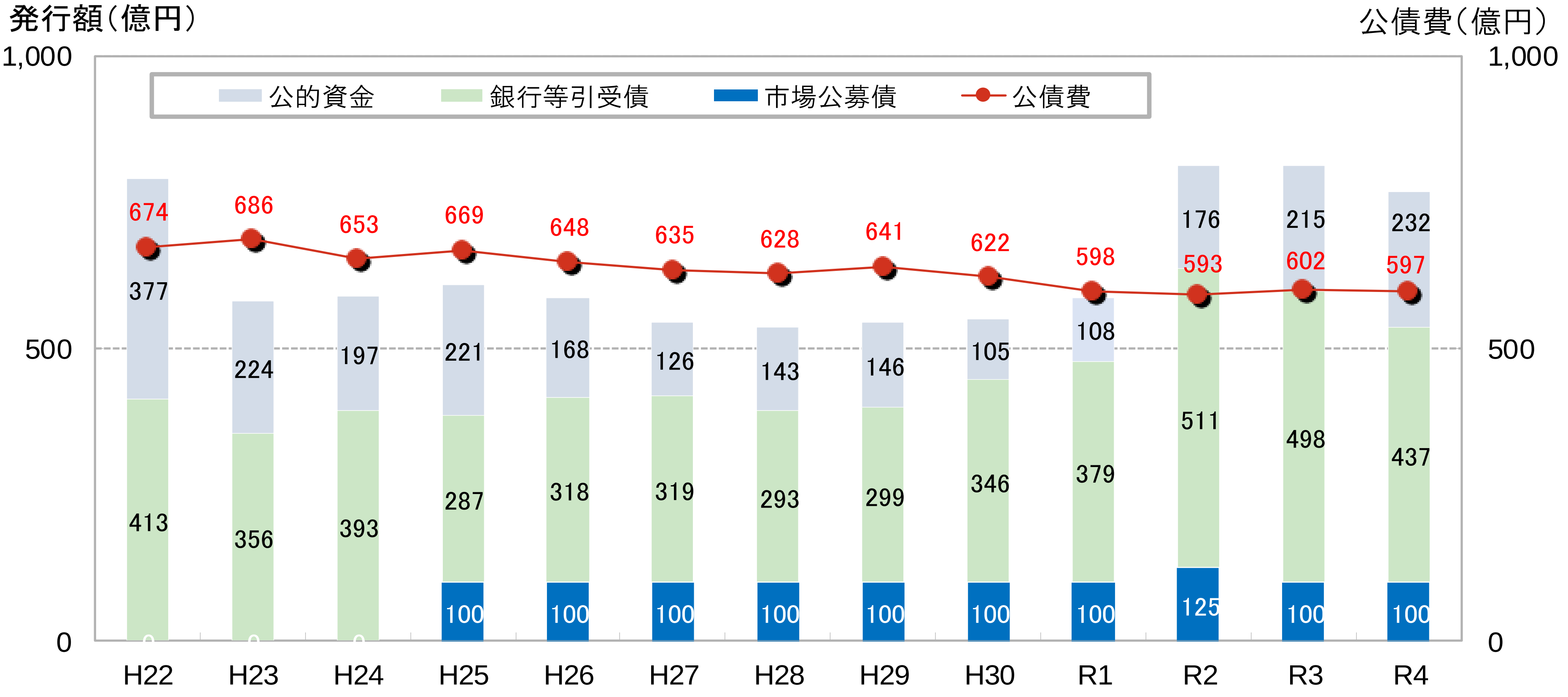
投資的経費の推移

- 投資的経費は経済対策等を除き800億円程度で推移していましたが、令和2年度からは、大型事業の実施により1,000億円程度となっています。



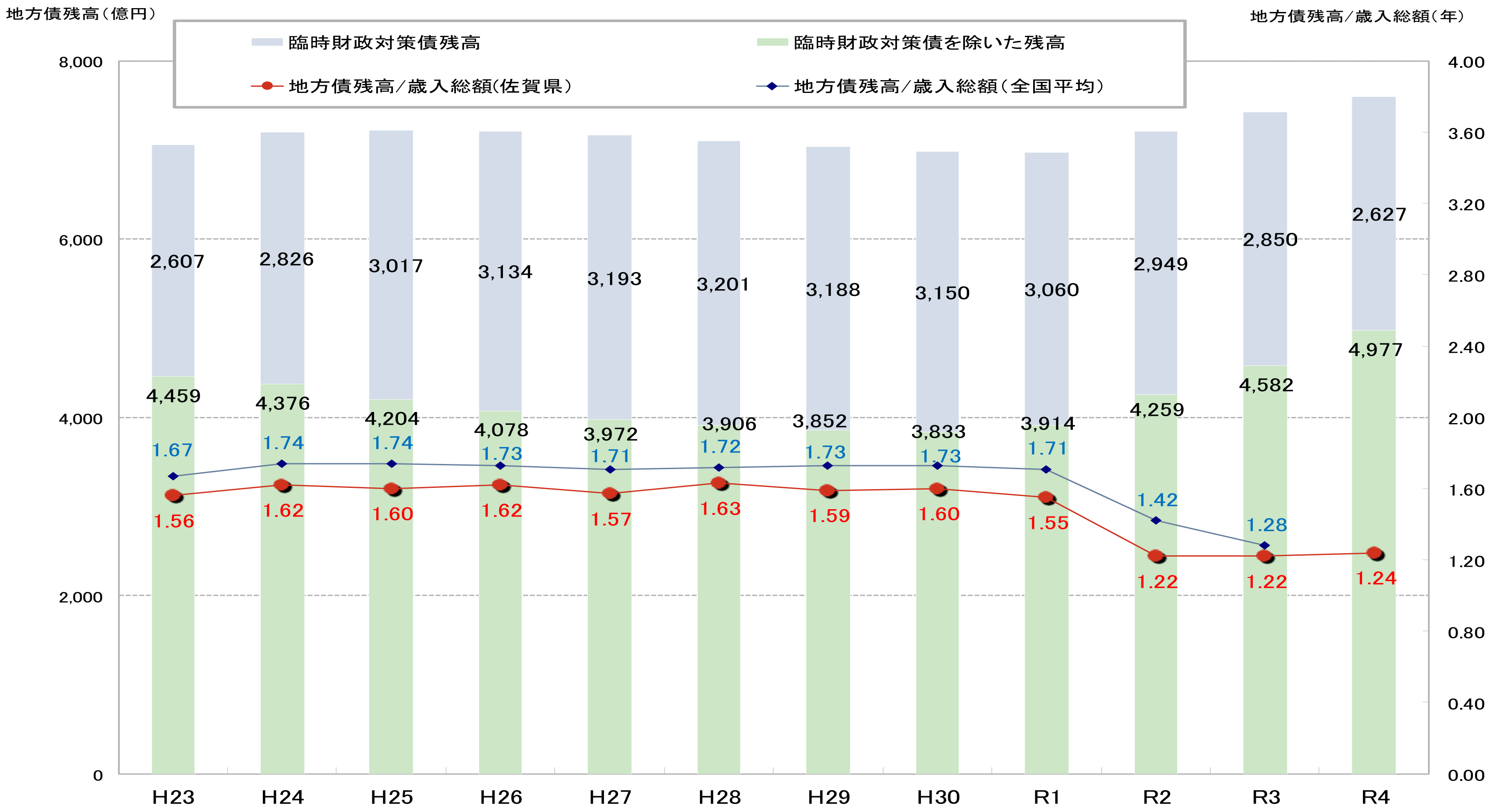
県債発行額の推移

- 発行額は600億円程度で推移していましたが、令和2年度からは、大型事業の実施により800億円程度となっています。
- 資金調達の多様化を図っており、資金区分は、民間資金の割合が高くなってきています。



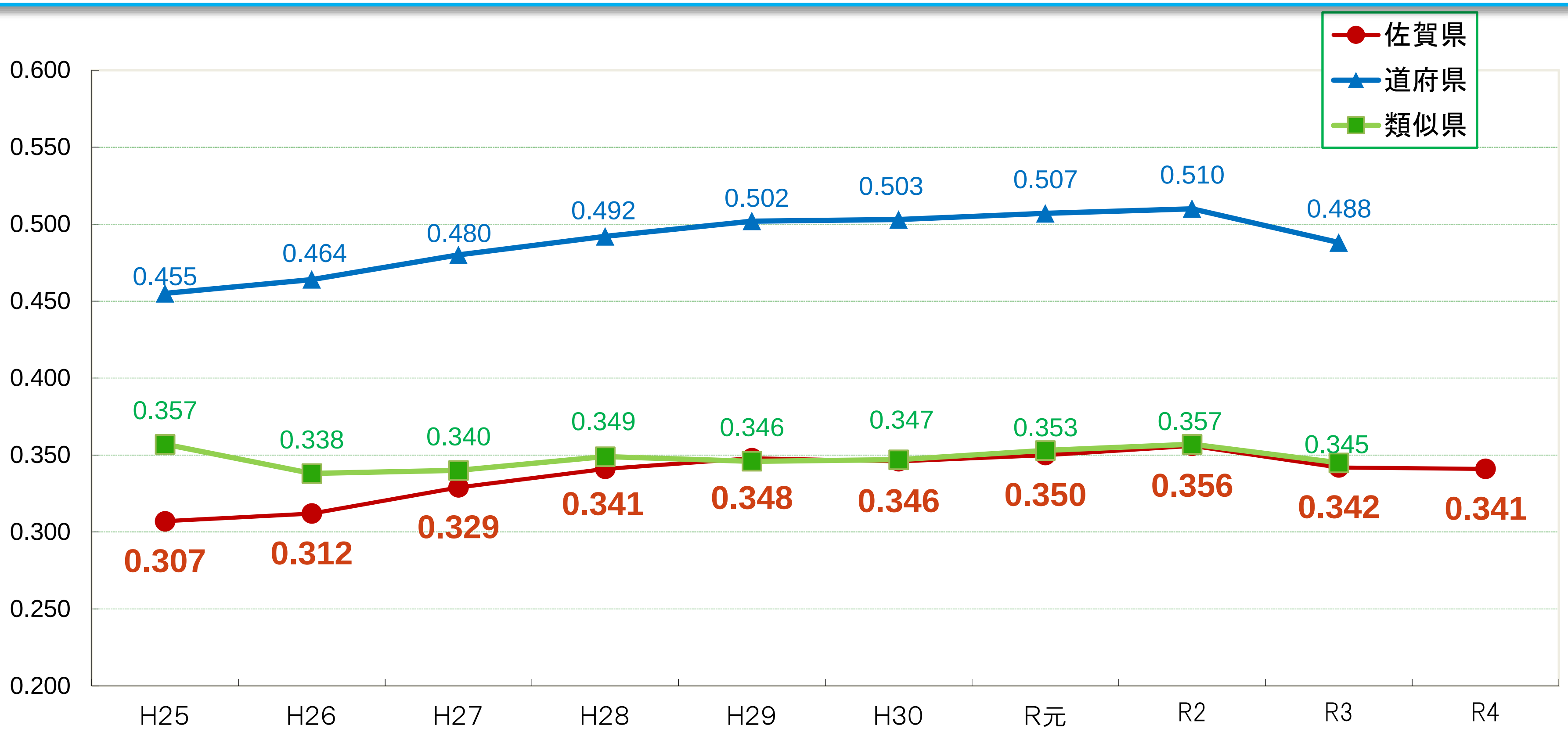
県債残高の推移

- 県債残高は大型事業の実施により令和4年度がピークとなっています。今後は減少していく見込みです。



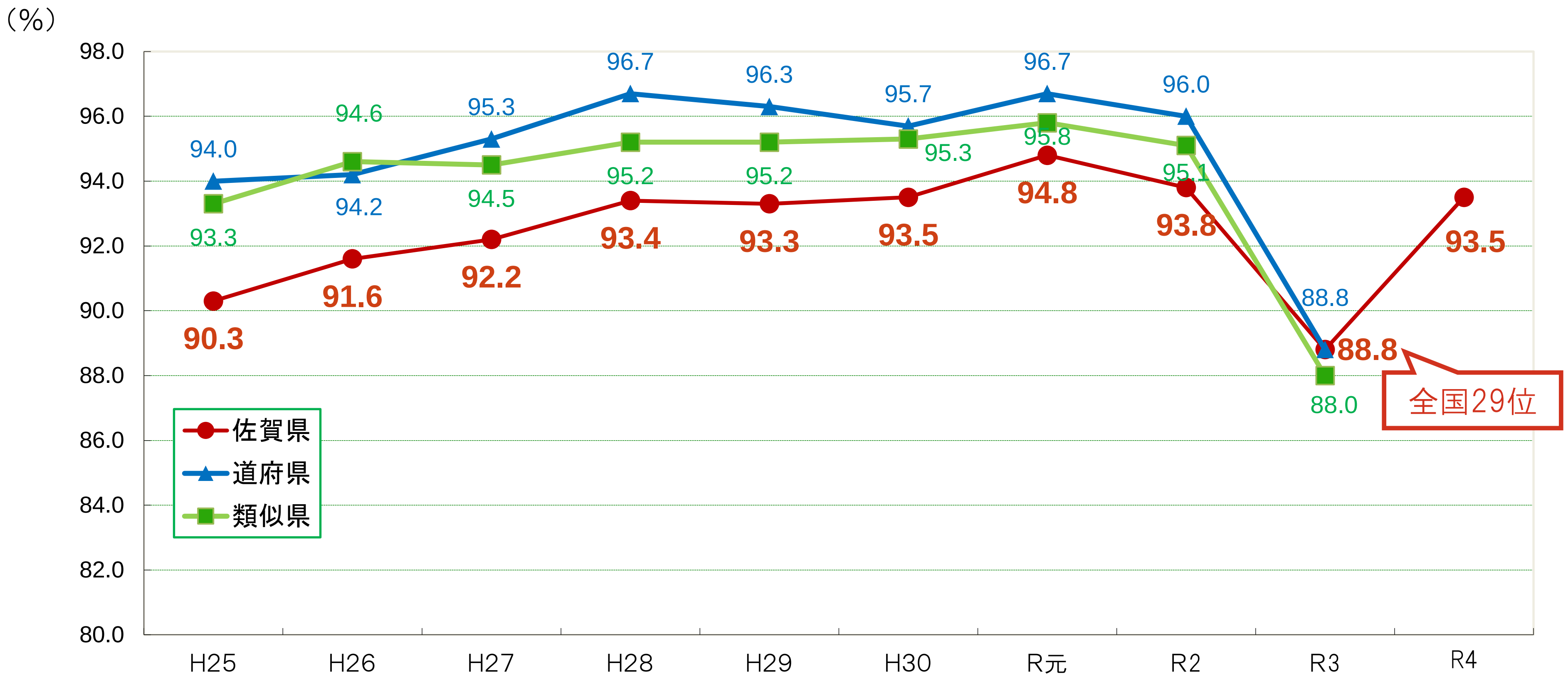
財政力指数

- 地方公共団体の財政力を表す指標で、1に近づくほど財政力が強いとされています。
- 本県は、類似県と同程度の値で推移しています。
- 令和3年度では、47都道府県中37位となっています。



経常収支比率

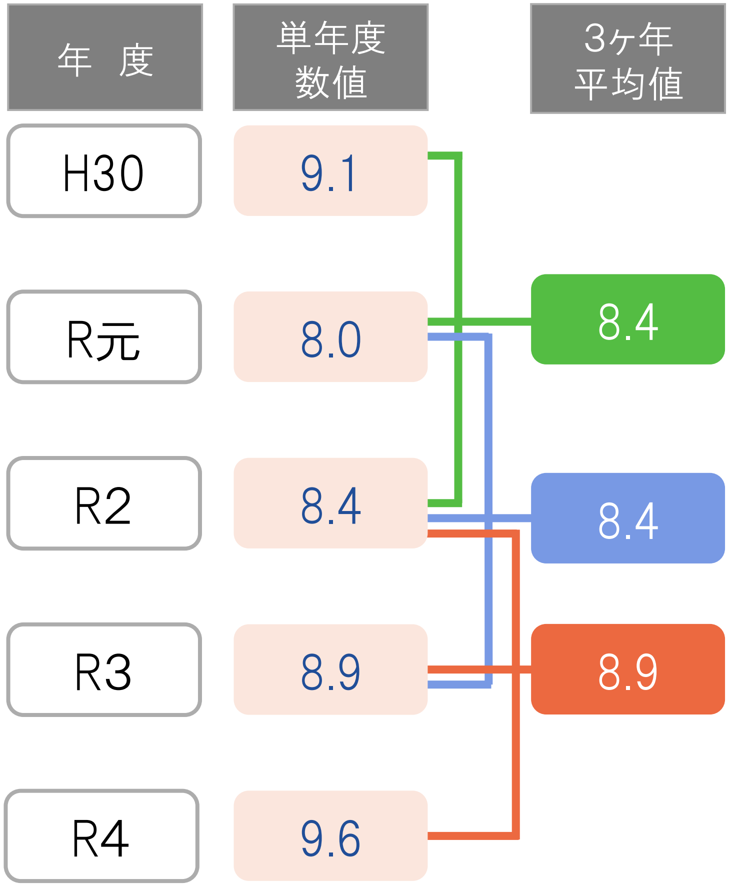
- 財政構造の弾力性を示す指標で、比率が低いほど行政需要に弾力的に対応できます。
- 令和3年度では、47都道府県中、良いほうから29位となっています。



実質公債費比率

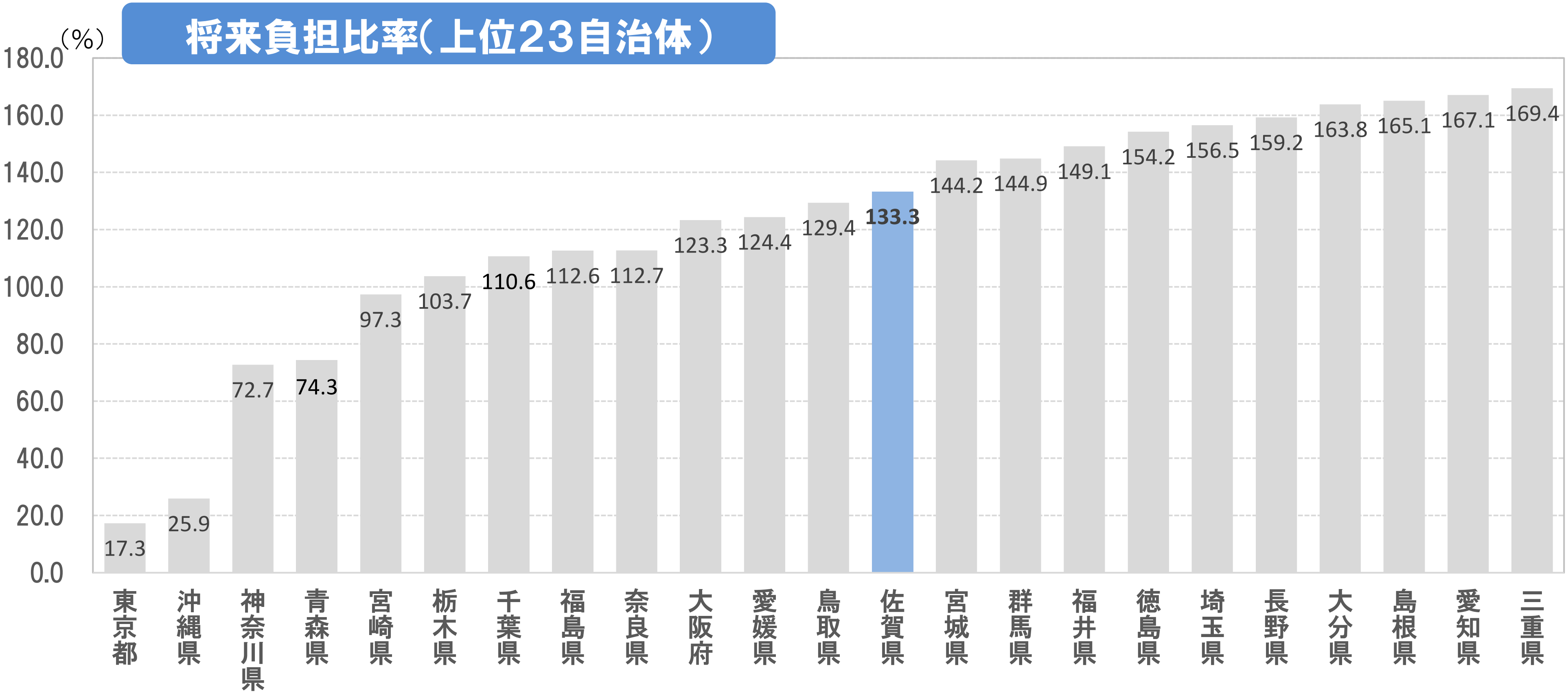
- 実質的な公債費（地方債の元利償還金）が財政に及ぼす負担を表す指標です。
- 令和4年度では、47都道府県中、良いほうから10位となっています（速報）。

指標名		R2	R3	R4
実質公債費比率	本県	8.4	8.4	8.9
	類似団体	10.7	10.5	（未公表）
	全国	10.2	10.1	（未公表）



将来負担比率

- 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債が、経常的な一般財源の規模に対してどの程度あるかという、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示した指標です。
- 令和4年度では、47都道府県中、良いほうから13位となっています（速報）。



健全化判断比率等（令和4年度決算）

健全化判断比率

（単位：%）

指標名	R4		R3			早期健全化基準	財政再生基準
	本県	順位	本県	全国	順位		
実質赤字比率	ー	ー	ー	ー	ー	3.75	5.0
連結実質赤字比率	ー	ー	ー	ー	ー	8.75	15.0
実質公債費比率	8.9	10（速報）	8.4	10.1	9	25.0	35.0
将来負担比率	133.3	13（速報）	117.0	160.3	10	400.0	ー

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率がないため「ー」で記載

資金不足比率

（単位：%）

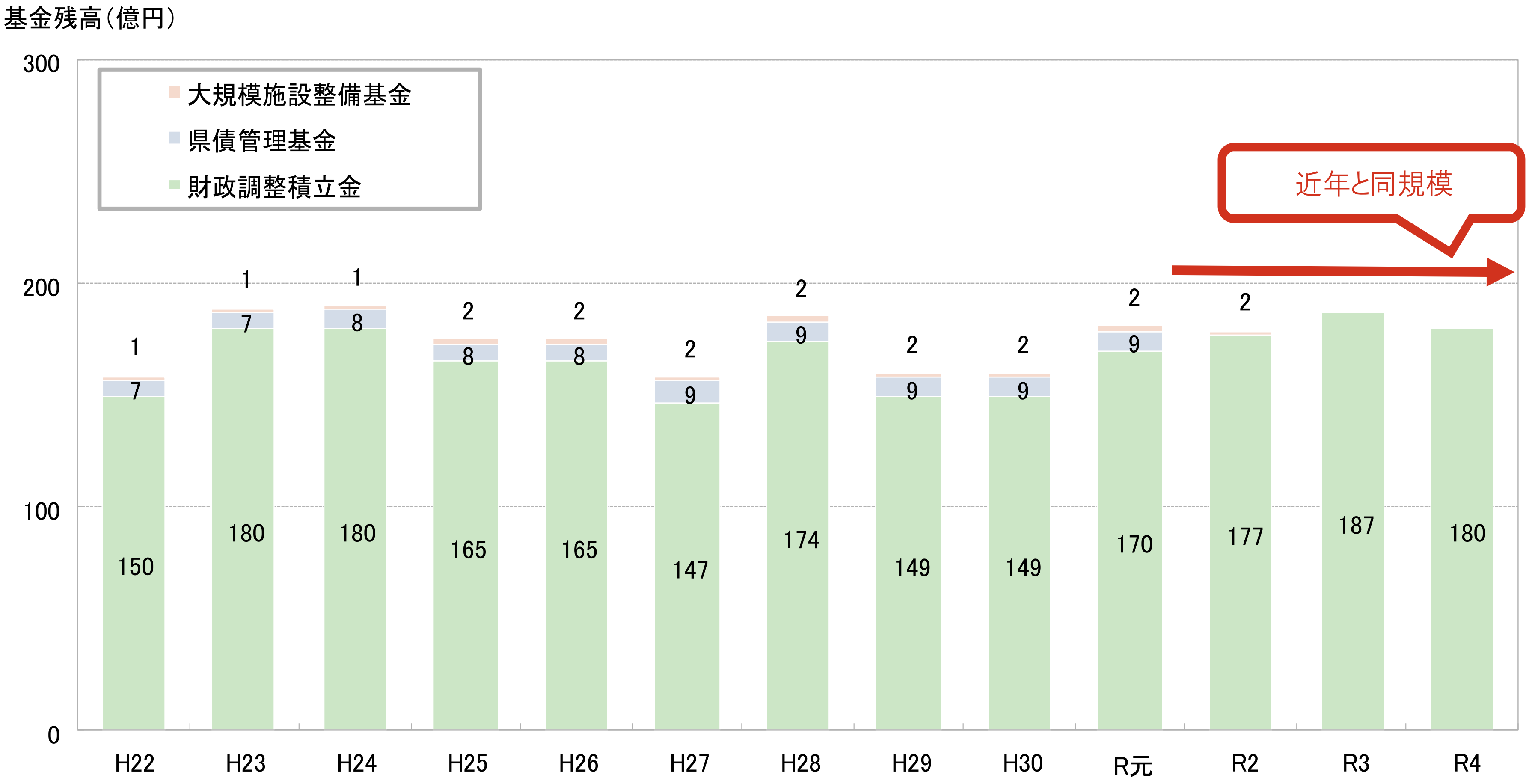
公営企業会計	本県	経営健全化基準
佐賀県工業用水道事業会計	ー	20.0
佐賀県港湾整備事業特別会計	ー	20.0
佐賀県産業用地造成事業特別会計	ー	20.0

（※）資金不足がないため「ー」で記載

全ての
公営企業会計で、
資金不足なし

財源調整用基金

- 令和4年度末の基金残高は180億円となっており、近年と同規模の額を確保しています。



本県の財政上の特徴

地方公共団体の財政力を示す**財政力指数**は平均より低い

R2	R3	R4	備考
0.356 （0.510）	0.342 （0.488）	0.341	()は東京都を除く道府県平均

その中で、堅実な財政運営を行っている結果

実質的な公債費が財政に及ぼす負担を示す**実質公債費比率**は
都道府県中　第9位（R3）

（単位：%）

R2	R3	R4	備考
8.4 （11.7）	8.4 （11.4）	8.9	()は東京都を除く道府県平均

将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す**将来負担比率**は
都道府県中 第10位（R3）

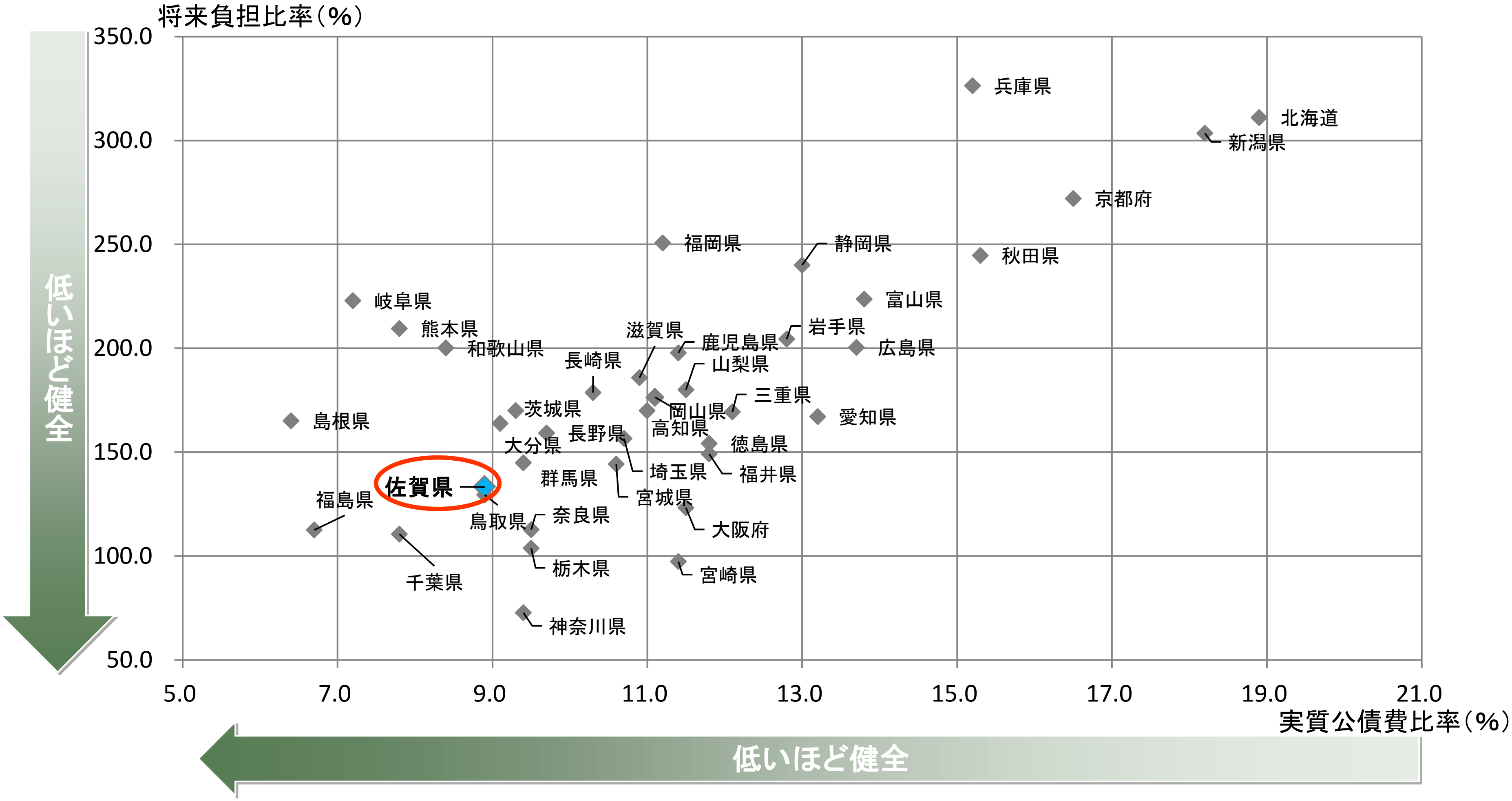
（単位：%）

R2	R3	R4	備考
120.1 （196.1）	117.0 （177.1）	133.3	()は東京都を除く道府県平均

財政の健全性を維持

健全化判断比率の全国的なポジション（令和4年度決算）

本県は全国型市場公募地方債を発行している道府県39団体の中でも、
健全な財政状況となっています。



3 行財政運営計画

行財政運営計画2023（R5～R8年度）

時代に即した様々な施策を時機を逃さず実施していくため、県政運営の土台となる行財政運営を強化。

効率的かつ効果的な行政運営

1　新たな価値を生み出す組織づくり

2　多様な人材の確保・育成

3　行政デジタル化の推進

安定的かつ弾力的な財政運営

1　歳入確保対策の強化
（１）財源の獲得
（２）自主財源の確保
2　徹底した歳出の見直し
3　持続可能で柔軟な財政構造の確立

持続可能で柔軟な財政構造の確立

※R5. 9月試算　（単位：億円）

	R５	R６	R７	R８
財政調整積立金残高	163	155	140	130※

※経常的な一般財源の規模（標準財政規模）の５％程度

収支改善対策（R5～R8年度）

収支改善対策		金額
財源の獲得	○地方創生関連交付金の採択額 ○ふるさと納税寄附額	84億円程度
自主財源の確保	○県税の未収額削減 ○未利用財産の売却・貸付、広告収入	7億円程度

4 公営企業等の状況

令和4年度決算に係る公営企業会計の財務状況

公営企業（病院、工業用水道、産業用地、港湾整備）は、資金不足は生じておらず、健全な経営状況となっています。

（単位：百万円）

会計名	総収入 A	総費用 B	純損益 C（A−B）	資金 剰余額 （不足額）	他会計 からの 繰入金	企業債 （地方債） 現在高
佐賀県医療センター好生館 貸付金特別会計	11	11	0	0		527
佐賀県工業用水道 事業会計	384	469	△85	0		
佐賀県産業用地 造成事業特別会計	110	21	89	1		1,767
佐賀県港湾整備 事業特別会計	287	131	156	469		4,187

※佐賀県立医療センター好生館貸付金特別会計は、公営企業会計分のみ記載（普通企業会計分は除く）

公社・第三セクターの財務状況

公社の状況

土地開発公社及び道路公社は、健全に運営されています。

（単位：百万円）

		土地開発公社			道路公社		
		R2	R3	R4	R2	R3	R4
貸借対照表							
	資　産	１，６９３	１，６９７	１，６８３	２８，４０８	２８，５０６	２８，８１１
	負　債	４７	５０	３２	１８，５１８	１８，６１６	１８，９２１
	資　本	１，６４６	１，６４７	１，６５１	９，８９０	９，８９０	９，８９０
損益計算書							
	経常損益	△３	２	４	５１２	０	０
	当期損益	△３	２	４	５１２	０	０

第三セクターの状況

第三セクターについては、半数以上の団体の運営状況は特段問題ありませんが、一部、赤字団体においては、事業の見直しや経営改善に向けた取組が進められており、県としても必要な関与をしています。

（単位：百万円）

	経常損益	純資産又は正味資産	県からの出資金	県からの補助金
全団体　（28団体）	７２０	４４，５２９	１５，３２６	４，２４０
赤字団体（10団体）	△１１７	７，５５０	３，６１５	１，２５３

※総出資額に占める佐賀県からの出資割合が25%以上の団体について集計

5　地方公会計に基づく財務諸表の状況

■ 令和3年度決算に係る貸借対照表

- 資産は、前年度と比較し、基金の増等により約96億円の増加となっています。
- 負債は、前年度と比較し、地方債の増等により約159億円の増加となっています。

（単位：百万円）

科 目	金 額			科 目	金 額		
	R02年度	R03年度	増 減		R02年度	R03年度	増 減
【資産の部】				【負債の部】	838,596	854,532	15,936
固定資産	1,497,645	1,513,447	15,802	固定負債	767,532	782,631	15,099
				地方債	662,785	683,870	21,085
有形固定資産	1,395,751	1,392,783	△2,968	退職手当引当金	102,958	97,549	△5,409
				損失補償等引当金	460	304	△156
事業用資産	212,299	234,018	21,719	その他	1,330	908	△422
土地	102,067	102,115	48				
建物	62,944	73,775	10,831				
工作物	8,581	7,908	△673				
その他	38,707	50,220	11,513				
インフラ資産	1,171,099	1,144,730	△26,369	流動負債	71,064	71,901	837
土地	324,801	327,338	2,537	1年以内償還予定地方債	58,575	59,928	1,353
建物	1,540	1,598	58	未払金	385	185	△200
工作物	790,608	755,976	△34,632	賞与等引当金	9,019	8,671	△348
その他	54,151	59,818	5,668	預り金	2,881	2,907	26
物品	12,352	14,035	1,683	その他	204	210	6
無形固定資産	377	263	△114				
投資その他の資産	101,518	120,401	18,883	【純資産の部】	700,647	694,300	△6,347
投資及び出資金	21,057	20,938	△119	固定資産等形成分	1,519,289	1,535,991	16,702
長期延滞債権	2,426	2,298	△128	余剰分（不足分）	△818,642	△841,691	△23,049
長期貸付金	20,922	19,378	△1,544				
基金	57,025	77,780	20,755				
その他	144	58	△86				
徴収不能引当金	△55	△51	4				
流動資産	41,598	35,385	△6,213				
現金預金	19,239	12,292	△6,947				
短期貸付金	3,913	3,803	△110				
基金	17,731	18,741	1,010				
その他	716	550	△166				
資産合計	1,539,243	1,548,832	9,589	負債及び純資産合計	1,539,243	1,548,832	9,589

※四捨五入の関係で合計額が一致しない場合があります。
※事業用資産及びインフラ資産の「建物」「工作物」「その他」並びに物品は、減価償却累計額控除後の額です。

6 佐賀県市場公募債について

発行概要等

市場公募債の令和５年度発行計画

発　行　額	100億円
償還年限	10年（満期一括）
条件決定日	令和5年11月10日
発　行　日	令和5年11月30日
個人向販売	SMBC日興証券(株)

シ団構成メンバー

（%）

金融機関名	シェア	証券会社名	シェア
(株)佐賀銀行	21.0	SMBC日興証券(株)	13.0
(株)みずほ銀行	19.0	大和証券(株)	11.0
(株)佐賀共栄銀行	2.0	野村證券(株)	11.0
佐賀信用金庫	1.0	みずほ証券(株)	8.0
唐津信用金庫	1.0	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	5.0
伊万里信用金庫	1.0	岡三証券(株)	1.0
九州ひぜん信用金庫	1.0	しんきん証券(株)	1.0
(株)あおぞら銀行	1.0	東海東京証券(株)	1.0
(株)SBI新生銀行	1.0		
(株)三井住友銀行	1.0		

お問い合わせ先

佐賀県 総務部 財政課 公債担当
〒840-8570　佐賀県 佐賀市 城内 1-1-59

TEL : 0952-25-7013　FAX : 0952-25-7292
✉ zaisei@pref.saga.lg.jp